

公園や里山林の葉が落ちた木に、この季節だからこそ観察できるものがあります。木の芽の冬の姿です。サインペンの先のような部分が冬芽で、春になれば大きくなる小さな葉がたたまれていたり、ここから枝が伸びたりします。この冬芽のすぐ下の部分、動物の顔のように見えませんか？

これは、葉がついていた跡で、目や鼻に当たる部分は、枝と葉の間で水や養分をやりとりしていた管の跡です。

木の種類によって、“顔”の形や“自鼻立ち”も違いますし、顔がなく“口”だけに見えるものもあります。皆さんも、身近にある木のオモシロイ顔を探してみませんか？



ハンノキの芽：赤く少しふくらんでいるのが冬芽で、その下の“顔”に見えるのが葉のついていた跡

繁殖期に入りました 寒い日が続いています。コウノトリたちの繁殖は冬の時期から始まります。今シーズンもまた放鳥コウノトリたちに動きが出てきました。

巣づくり上手

放鳥コウノトリ J0290 (2000年生れ、オス) がコウノトリ保護増殖センター第6ケージの、金網でできた屋根に巣づくりを始めたのは、昨年11月6日のことでした。野を自由に飛びまわられる鳥に、飼育コウノトリのケージの屋根で巣を作られると、ただ汚れるだけならいいのですが、病原体などを持ち込まれる可能性があるため困ってしまいます。それがたとえ放鳥コウノトリであっても、同じことです。そこで、飼育員が屋根に上がり巣を撤去したり、ケージの屋根を白いビニールシートで覆ったりするのですが、J0290は少しずつ位置を変えて、しつこく巣づくりを繰り返しました(写真1)。このイタチごっこのような“巣づくり”と“巣の撤去”は今年の1月末までの間に6回も行われました。J0290の巣づくり上手な才能は、飼育コウノトリの頭の上や電柱などではなく、これまで放鳥コウノトリが巣づくりをしたことがないマツの木で、発揮してほしいと期待しています。



写真1 コウノトリ保護増殖センター第7ケージ(第6ケージ隣)屋根に作られたJ0290の巣

特別観察会「冬の動物」のご案内

日程：平成20年2月17日(日) 9:00~12:00
対象者：小学生~一般 (小学生は保護者同伴が望ましい)
定員：30名
内容：コウノトリの郷公園内に残された足跡や食べ痕から、里山にすむ動物をしらべよう
集合場所：コウノトリの郷公園 管理・研究棟 セミナー室
応募締切：平成20年2月14日(木) ただし、定員になり次第締め切ります
保険料：21円
申込方法：次の~を明記したハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください
郵便番号・住所 氏名(ふりがな) 生年月日
電話番号 「冬の動物」への参加を希望

お詫びと訂正

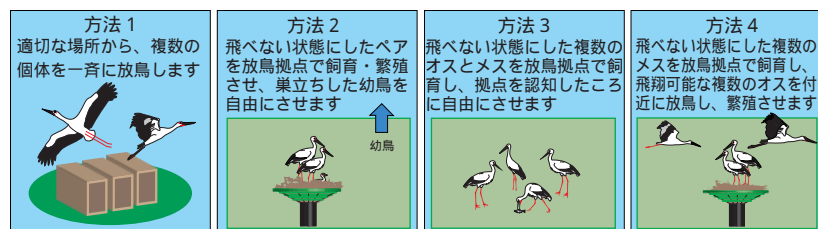
いきもの通信 No.125にて、一部「くちばしの赤いコウノトリ」の写真キャプションで、放鳥コウノトリの個体番号 J0275 を、誤って J10275 と記載してしまいました。ここにお詫びし、訂正いたします。

コウノトリの羽数 (2008.1.31 現在)

放鳥拠点にいるコウノトリは「飼育下」にいるものとし、放鳥拠点から解放もしくは巣立ちをした際に「放鳥コウノトリ」として数えます。したがって、現在三木放鳥拠点にいる親鳥は「飼育コウノトリ」として数え、繁殖行動が無事に進展した場合、幼鳥は巣立ちをもって「野外にいるコウノトリ」として数えます。

飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	合計
コウノトリの郷公園	27	34	61
コウノトリ保護増殖センター	17	18	35
三木放鳥拠点(方法2: H19.9.30着手)	1	1	2
合計	45	53	98



野外にいるコウノトリの羽数

実施年度	放鳥方法	放鳥実績/野外での繁殖			回収/収容		死亡		備考	野外現存数
		放鳥、着手、または巣立ちした日	オス	メス	合計	オス	メス	オス		
平成17年度	方法1	平成17年9月24日放鳥	2	3	5			1	J0232死亡	4
	方法4	平成17年9月30日着手		2	2	2			ペア不成立のため回収	
平成18年度	方法2	平成18年7月14日、21日巣立ち	1	1	2					2
平成18年度	方法1	平成18年9月23日放鳥	1	2	3					3
	方法3	平成18年9月24日放鳥	2	2	4					4
平成19年度		平成19年5月19日野外で孵化		1	1				平成19年7月31日巣立ち	1
	方法1	平成19年9月22日放鳥	2	1	3					3
	方法3	平成19年9月23日放鳥	1	1	2					2
合計			9	13	22	0	2	1		19

子別れのとき

昨年百合地地区の人工巣塔で生まれ育った幼鳥(J0003、メス)が、巣立ちしてから6ヶ月が経ちました。巣立ち後も長い間親鳥の近くで過ごしたり、親鳥に対して刃向かうような行為もあったJ0003でしたが、親鳥が繁殖期に入り親子の関係に変化が現れてきました。親鳥がJ0003を追い払う場面が、1月21日ごろから増えてきたのです(写真2・3)。特に父親であるJ0275(2000年生れ)は、エサ場や百合地地区の人工巣塔の近くにJ0003がやってくると、クラッタリング(注)をして威嚇したり、時には執拗に追い払います。いよいよ子別れのときが来たようです。



写真2 親鳥(中央、右)に詰め寄せられ、追いやられる幼鳥J0003(左)

注：上下のくちばしをカスタネットのように打ち鳴らし、カタカタと音を出すこと。愛情表現や威嚇などのコミュニケーション。

問い合わせ先
兵庫県立コウノトリの郷公園
〒668-0814 豊岡市祥雲寺字ヶ谷128番地
TEL: 0796-23-5666
FAX: 0796-23-6538

E-mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
URL: http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
開園時間: 9:00~17:00
休園日: 毎週月曜日(休日に当たるときはその翌日)
リサイクルペーパーを使用